

第203号

2024年3月20日発行

発行者 日本共産党利島支部
笹岡 寿一

〒100-0301

東京都利島村850番地
電話 04992-9-0191

Eメールアドレス

to_sasaoka@yahoo.co.jp

あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 権力に負けず真実を伝える

「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい【月930円】

村の政治は村の人々のために
あります。皆さんのご要望・
ご意見などお寄せ下さい！

政倫審深まった疑惑

自民党裏金問題



岸田首相(左端)を追及する日本共産党の穀田恵二議員(写真左)。政倫審に出席した安倍派二階派の幹部5人



85人の自民党議員らが関わったにも関わらず、逃げに逃げ、わずか6人だけが出席した政倫審。

安倍派幹部は「秘書が…」を、二階派幹部は「事務局長が…」を連発し、責任逃れに終始しましたが、こんな言い訳が国民的に通用する訳がありません。

“宿題”解決せよ

- ① 裏金は違法だと思っていたのではないか
- ② いったい誰が始めたのか、何に使ったのか
- ③ いったん“やめる。”と決めたのになぜ再開したのか

自民党が国民に果たすべき「宿題」は山積みです。



一歩ふみだしたけど、
まだまだこれから

次は証人喚問を 日本共産党

政倫審の質疑をふまえ、「次は証人喚問」の声が高まっています。証人喚問では「証言拒否は認められない」し、「ウソをつけば偽証罪に問われる」からです。日本共産党は真相解明に全力を尽くします。



利島村議会議員

ささ おか とし かず
笹岡 寿一

住民の皆さんと共に歩む姿勢を貫きます

衆院比例東京ブロック予定候補



田村 智子
党委員長・参院議員



宮本 徹
衆議院議員



谷川 智行
医師・党政策副委員長



坂井 和歌子
吉良山添事務所長

* この「あしたば」は、共産党 利島村で検索 (開くまで数秒掛かります) すれば読めます *



笹岡寿一のおかず

議会報告



2024年度・第1回定例村議会は、3月11日(月)に開会しました。会期は、22日(金)迄の12日間としました。15日の午後5時0分に閉会しました。笹岡議員の一般質問を中心に村長の所信表明(骨子)、行政報告と議案に関しては、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる件について、お知らせします。議案は、条例案件7件、5年度各会計の補正予算案件7件、6年度各会計の予算案件7件、東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更1件です。

3月議会で話し合われた内容です 「小見出しは笹岡」



基本方針 I. 将来世代に対し持続可能な島づくり
村山村長「デジタルなどの新しい技術の活用を図って、先進的で持続可能な島へ目指す将来像へつなげていく。」
笹岡議員「基本方針の骨子とは言え、余りにも抽象的で掴み処が分かりません。」

未来志向は由として、現状認識によっては、大言壮語になりかねません。そこで、現状認識と将来構想の具体的施策を伺います。持続可能な島とは? 目指すべき将来像とは? 村山村長「具体的に全てここで挙げることは出来ないが、一つだけ挙げれば、教育は重要と考えています。」

II. 健全な財政運営
村山村長「令和6年度一般会計当初予算(案)の額が20億円を超え、利島村としては過去最大の予算規模。利島の将来に対する非常に重要な投資であり、その着実な推進のために、交付金・補助金等を積極的に確保。その一方で、非常に厳しい財政状況に変わりはない。限られた財源の中で、より効率的かつ効果的に施策を展開できるように、持続可能な財政運営に努めていく。」

III. 公正・公平な村政運営
村山村長「小さな島であるが故の許容で成り立っていた部分が多分にあり、それらが良い部分でも、悪い部分でもあった。8割以上の移住者の方が占める本村において、公正で公平な運営がより求められている。そのため、社会規範に従い、より公正で、公平な島であるよう、村政運営に取り組んでいく。」

笹岡議員「小さな島であるが故の許容で成り立っている良い部分と悪い部分」とは? 村山村長「日常の中で何となく決め付けられるようなことがあって、それで良いのかなと思う事があるという事です。」
笹岡議員「社会規範に従い、より公正で、公平な島」とは? 村山村長「20代から40代の人々の8割以上の移住者の方が占める本村において、そのように認識して貰えるような島という事です。」

個別方針
① 将来への投資
村山村長「令和5年度からは、都の「東京宝島サステイナブルアイランド創造事業」などに参画し、将来に向けた投資として、事業を推進。」
笹岡議員「この事業計画を一覧表で示せますか。」
隅総務課主幹「一覧表で示すことは困難です。」
「口頭での報告はありました。割愛します。」

② 教育改革
村山村長「利島村教育大綱や、義務教育学校化された利島小中学校を核としながら、これまでの良さを継承しつつも、新たな取組を積極的に取り入れていく。」

③ 福祉・医療事業
村山村長「子ども家庭支援センターの運営や通所介護サービス等の提供、認知症予防など各種健康増進事業の実施など、子どもから高齢者までの様々な福祉事業を展開。島外通院旅費助成事業の拡充見直しや、難病等通院交通費支援を積極的に周知。」

④ 生活インフラ整備事業
村山村長「ごみ焼却場については、改めて、その整備に向けて取り組んでいく。」
「ごみ焼却場に関する質問は、予算審議の中にまとめて記載します。」

笹岡議員「この事業は、将来も島しよ対策として半永久的に継続されますか。」
村山村長「東京都の事なので分かりませんが、現状では、3年間の事業と認識しています。」

④ 生活インフラ整備事業
村山村長「ごみ焼却場については、改めて、その整備に向けて取り組んでいく。」
「ごみ焼却場に関する質問は、予算審議の中にまとめて記載します。」

③ 福祉・医療事業
村山村長「子ども家庭支援センターの運営や通所介護サービス等の提供、認知症予防など各種健康増進事業の実施など、子どもから高齢者までの様々な福祉事業を展開。島外通院旅費助成事業の拡充見直しや、難病等通院交通費支援を積極的に周知。」

② 教育改革
村山村長「利島村教育大綱や、義務教育学校化された利島小中学校を核としながら、これまでの良さを継承しつつも、新たな取組を積極的に取り入れていく。」

① 将来への投資
村山村長「令和5年度からは、都の「東京宝島サステイナブルアイランド創造事業」などに参画し、将来に向けた投資として、事業を推進。」
笹岡議員「この事業計画を一覧表で示せますか。」
隅総務課主幹「一覧表で示すことは困難です。」
「口頭での報告はありました。割愛します。」

⑤ 産業振興

村山村長】 樺産業において、自動草刈り機の実証実験の規模を拡大して行い、実装化に向けて推進する。

「産業振興質問は、一般質問の中にまとめて記載します。||世間」

⑥ 防災対策

村山村長】 発災時に、より効果的に対応できるように、関係機関や団体との調整など、オペレーションの確認。

⑦ 行政改革

村山村長】 職員の増員や、IT環境の改善による効率化など、事業の推進を進めていくための土台を整備。

職員研修が受講できる環境整備について検討を進め、住民の皆様から親しまれやすい、丁寧なサービスの提供を職員誰もが実施していく。

笹岡議員】 ハラスメント被害者は何処に訴えることになっていきますか。条例に基づく対応と体制を伺います。

榎本総務課長】 町村公平委員会になっていきます。

笹岡議員】 公平委員会は身近ではなく、実際には泣き寝入りになる可能性が考えられます。人権擁護委員の対応は

出来ませんか。

榎本総務課長】 人権擁護委員は自分だが、検討の余地はあるかと思えます。

笹岡議員】 予算成立前に一部の入札が執行されていることに不信の声があります。

榎本総務課長】 軽微な事業について実施しています。

菅瀬副村長】 何処の自治体でもやられていることです。

笹岡議員】 所信表明、答弁骨子は送付された時点で公開を求める声があります。

菅瀬副村長】 本来はあり得ない本村独自の議員に対する内部的文書であり、議会開会以前に公表するのは控えて欲しいと考えています。

笹岡議員】 一般の議員協議会に於いて、予算案送付が遅れた件で「何故月曜日と言ったのか。休日であっても印刷して送付しなければならぬ」と云う行政の職務責任の自覚と緊張感の欠如が見られる。

これは人手不足とか、職員研修などと云う以前の問題だ。「民間では考えられない事だ。」

ただでは済まされない」などの発言があり議長に、「行政が是正を図るよう」要請しています。

所見を伺います。

榎本総務課長】 事前にタブレット送信してあったことで、紙印刷での送付は月曜日と連絡しました



新しい教育大綱の公表

弟子丸教育長】 1月に、利島村総合教育会議(村長・教育長・教育委員で構成)により、利島村の新しい教育大綱として、「利島村“人づくりが島づくり”大綱」を決定しました。住民参加型で策定した本大綱を押しどころとして教育改革を進めていきます。

白馬ウインター スクールの実施

弟子丸教育長】 1月3日(7日に、



を実施しました。

友好村である檜原村との交流行事として、子供たちの貴重な体験の機会となりました。

被災地へのポータブル水循環システムの貸し出し

榎本総務課長】 1月1日に発生した能登半島地震の被災地・石川県七尾市の介護施設に利島村の防災用水循環システム1台を関係団体と協力し、貸し出しを行っています。

脳の健康教室の実施

榎本住民課長】 認知症予防のための「脳の健康教室」を社協と協働で実施しています。

初回の参加者は12名となり、高齢者の仲間づくりや地域とのつながりなど、認知症予防以外の効果も期待されます。

榎本住民課長】 高齢者肺炎球菌ワクチン接種を2月2日に実施し14名に接種を行いました。令和6年度も引き続き接種を継続していきます。

一般質問 質問に先立って

笹岡議員】 私たち現議員は、今秋10月23日を以て任期を迎えます。



初めに、「聞こえ」に関する支援では、補聴器の購入助成額の5万円に留まらず、諸制度支援を含めた先進的な取

クレーン利用状況 報告

七島海運(株) 11月・8回 12月・6回 1月・6回 計20回 貸出2回



り組みをして頂いた事に謝意を表するものです。

私は、これまで一貫して住民の要望、意見を大事に村政に取り組んできました。

今日までの結果は、「聞こえ」に関する支援制度以外は、多くの制度の実現が厳しい状況にあります。私は、この後の任期中の議会に於いても、「島外医療受診の際の旅費支援制度」の充実をはじめ、福祉、教育、産業等多くの住民の皆さんの意見や要望事案の実現に、皆様のお力添えを頂きながら努力して参ります。



【笹岡議員】前議会で私が、「元々は、全住民を対象に一律1万5千円の助成であった制度を、前村長が1期目の就任早々、5千円に切り下げた。それを同人が2度目の村長選挙に立候補を前にして、7千円にした経過がある」と質問したことに、所管課長は認める答弁をしています。村が、「低所得の高齢者に手厚く改善した」(65歳以上

の住民税均等割が非課税者で、宿泊領収書あり、1万5千円・領収書なし、1万円)と云っても、この条件に該当する人は極めて限られています。

元々が全住民を対象に一律1万5千円だったことを知っている多くの住民からは、賛同する声は聞かれています。付き添い人に対する助成など、一部の改善策はあるものの、全体的に見れば、公務員を対象外とするなど、むしろ後退している面の方が大きいと思っています。

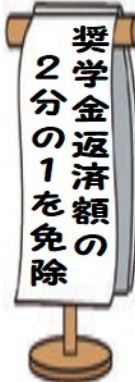
私は、全住民を対象に、交通事情による2日間迄の延泊を含めて、交通費(愛らんどシャトル、船舶特2等)と宿泊料(金(島嶼会館)を基準に、1回につき5万円を限度額として、実費の80%を回数制限なく助成すること



を求めます。これによる島嶼会館に2泊した場合の助成額は、往復「船舶」利用では、2万円・往復「ヘリコプター(大島間)」利用では、2万4千円になります。

私たちは日本共産党の島しょ議員団は、都議団と力を合わせて、引き続き東京都に支援助成を要請していきます。【榎本住民課長】今回公務員を助成対象に復活しました。他は、変更ありません。

【笹岡議員】所信表明で、「拡充に向けた見直し」との表明を見て期待していました。ところが、私の一般質問に対する答弁では、その実態は昨年、村長自身が公務員を切り捨てたことに、この一年、反対する議員質問があつて、渋々復活させたに過ぎない事を、「助成事業の拡充をした」と云う、自作自演の茶番ぶりには、あきれ返っています。

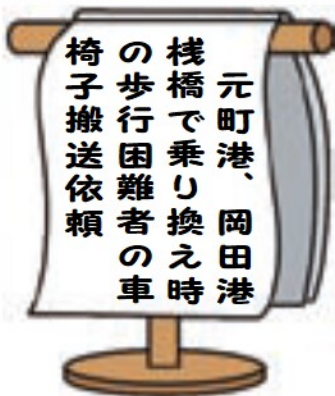


【笹岡議員】日本は高等教育に掛かる高過ぎる授業料、入学金と相まって、有償の奨学金による返済など教育費の負担

が際立って高く、先進国の中でも、「教育後進国」と云われています。

こうした実情の下にあって、入学金の廃止や授業料の減額、奨学金の半額免除、若しくは無償給付などの課題が国民的世論になっていきます。

私は、村の奨学金の半額を早期に免除するよう村長の英断を求めます。年に僅か、80万円程の負担で事足りります。【弟子丸教育長】前議会の時から変更がなく、奨学金返済額の一定額一律免除については、現時点では考えていません。



【笹岡議員】昨年6月の議会で大島の元町港、岡田港で歩行困難者を搬送して貰えないか要望しました。その後の状況について伺います。【荻野産業観光課長】利島の代理店にその旨を事前連絡いただければ、船や大島の代理店



とも可能な限り、手助けしていると聞いています。【笹岡議員】昨年、議会、行政、(株)TOSHIMAの三者会議が開催され、毎年一度の開催をすることで三者が合意しています。今年度は開催されますか。【荻野産業観光課長】会社から、「出席しない」と言っています。



【笹岡議員】村は、「人を入れてたくても住宅が無い」と言っている一方で、個人所有の空き家住宅の活用に当たってのリフォームについて、「入居希望者が決まってから対応する」と説明している」と聞いています。それからでは入居が遅くなります。登録を受けた時点でリ

フォームに取り組み、何時でも入居できる状態に施策を講じたら如何ですか。

村山村長 財源を含め体制を新築住宅の建設に集中する考えであり、やらないとは言わないが、後回し的になります。

100年史の発行

笹岡議員 昨年12月の議会でも要望しました。住民からも発行を強く求める声があります。

編集に当たっては、業者丸投げではなく、住民主体の参加型が望まれます。

榎本総務課長 100年史ではなく、村史の発行を教育委員と協議していきます。

椿林の放置林対策

笹岡議員 放置林が増えつつある今日、「農協と連携して取り組んでいく」と述べています。が、その後の進捗状況について伺います。

住民の中に、「猛暑の中での木下草刈は厳しい。将来の世代を考慮して椿林を活用した新産業の導入が必要と考える」との提案があります。

荻野産業観光課長 椿山の維

持には、副業で関わる人を増やすことが必要です。

村としては、農業機械購入に対する補助などの継続や草刈の自動化の実証を進めていることで、椿産業の活性化を図っていく考えています。

笹岡議員 自動草刈り機は本村の実情に合う実用化の見通しは有りますか。

荻野産業観光課長 重量が15kgとか、傾斜度が20度が限界などの課題はありますが、さらに検証していく考えています。

製油センターの早期建設

笹岡議員 早期建設を求めて署名活動をする動きがあります。建設が中止になった理由を伺います。

荻野産業観光課長 建設地が未定であった為、東京都との協議で用地の確定後に協議することになって中断しています。

笹岡議員 22年3月には計画文書は図面付きで出来ていますが、それを見ると用地は記載されていません。都には、その計画書を以て10月に補助金申請の説

明したのではありませんか。

荻野産業観光課長 その時点では用地は確定していません。

笹岡議員 用地が未定なのに、都が補助金の決定を出すとは考えられません。

23年3月に否決された当初予算には、用地取得費1千100万円程の予算が計上されていますが、再提出された予算案からは消えています。

23年度には用地取得は放棄した事になります。

新たに調査費として100万円程が計上されています。

「質問中総務課長が自席から、「調査費は全額減額補正した」との発言がありました。」

笹岡議員 つまり、23年度には何もしない事にした訳です。申請書に記載された用地の件で、この数年間の内に一度でも地主と交渉しましたか。

荻野産業観光課長 一度も交渉していません。

笹岡議員 地主と一度の接触も無いまま、「都に他人の私有地を書き込んで補助金の申請書を出した」と云うのは驚きです。

今年度は製油センター建設に関する予算はゼロです。

製油センターの建設は生産者会議の席上で、農協の副組合長

からも最優先施策として取り組むよう強い要請がありました。

今年度予算で用地を取得して、次年度予算で建設して、再来年には新製油センターが稼働するよう求めます。

村山村長 その計画を進めることは困難です。

考えていません。

笹岡議員 今の答弁では、少なくとも向こう3年間は出来ない事になります。

生産者会議では、「建設計画年次は言えない」との説明に、

「5年後の着工なのか、10年後なのか分からないのでは話にならない」との発言までありました。改めて伺います。

今年度予算で用地を取得して、次年度予算で建設すること出来ませんか。

村山村長 繰り返しになりますが、それは出来ません。

その考えはありません。

笹岡議員 せめて計画年次だけでも言えませんか。

村山村長 現段階では、それも言えません。

農業機械の助成拡充

笹岡議員 村は、農協が承認した新たな機械の推薦書について

「参考として受けているに過ぎない」としていることに、

農協に文書提出をさせるのは、村は、農協が住民から受けた要望を農協に拒絶させて、あたかも農協の責任に見せるがための策としか受け止められない。これほど姑息で組合員と組合を愚弄した答弁は無い」と怒りにも似た声があります。

私は、当然の指摘と考えます。農協は、生産者から機械の追加要望を受けて、時には、機械の購入をしてまで生産者に試験使用をしてみらうなど、誠実に責任を以て助成推薦しています。

機種によっては推薦しない事も当然あります。

村は、農協の対応を重々認識されて、取り組まれるよう、改めて対応を求めます。

荻野産業観光課長 機械購入については、生産者に対してアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、補助対象の機器を加えることを検討しています。

椿油産業支援事業

笹岡議員 前議会で農協の要望、意見を踏まえて質問しました。再度の質問をします。「椿油産業は、本村の歴史的

基幹産業」との位置付けが、謳い文句に留まることなく、「村を挙げての椿油産業の起死回生策」との位置付けと危機感を以て、農協の主体性を尊重しつつ、あらゆる事業取り組みの支援策を図る事を求めます。

現下の喫緊の課題として、JAS椿油の買取り価格について、村が椿実1kg当たり、350円の支援助成をすることを求めます。これによる生産者の受け取り価格は、1缶当り60kgと換算して、10万2千円になります。

これに要する村の負担額は、当面の買取り量では、300万円程で事足りません。

この施策を講じる事によって、「勤労されている若い人たちが生産に従事する意欲を誘引することに功を奏する」と考えられています。これが実現すれば、「椿油産業は魅力ある産業として、期待できる将来展望に繋がると考えます。改めて重視して実施することを求めます。

議会、行政、農協との三者会議

笹岡議員】村は、「生産者会議で対応できている」と拒絶していますが、同会議とは目的が異なります。

荻野産業観光課長】買取価格の支援は考えていません。

笹岡議員】かつて、「このままでは15年後には椿油産業は潰れる」と話した村長がいました。

その当時は、生産者は結構いました。あれから20年が過ぎていますが、今日では高齢化が進み、後継者も無く椿産業は危機的状况にあります。

将来は突然来るわけではありませんが、今こそ手立てを講じていかなければ、そう遠くない将来、椿産業は壊滅状況を招くことになりそうです。

村長が発言したと云う、「椿産業は補助金に頼らず自立するべきだ」との真意を伺います。

村山村長】今、椿産業の手当として下支えをしたことで、それが将来の足かせになる事もあり得ると云う考えから、農協の組合長に生産者の自立が求められる旨の話をしました。

生産者会議での質問にも、同じように答えています。

有する」ことにあります。その為、この会議には、イター、Uターン者で就農希望者の参加を求めます。

荻野産業観光課長】村は、農協が主催する年2回の生産者会議に出席させていただき、補助事業などの事業説明や意見交換を行っています。

このような場を活用して、意見交換を行っていきます。

笹岡議員】生産者会議とは会議の目的が違います。

私は、かたくなに拒絶する意図が理解できません。

本来は、「行政が議会、農協に呼び掛けしてよい会議ではないのか」と思っています。

委託事業の価格改定

笹岡議員】「新年度からの実施で検討する」と答弁していますが、変わりませんか。

榎本総務課長】人件費の賃金単価を200円引き上げて、時給1350円にしました。

地震が沢 ストックヤード

笹岡議員】タブレット放送で、「指定外廃棄物の投棄があった」

との情報がありました。私は、現地を見に行きました。

立て札は風で飛ばされてしまいましたが、札には、草木の投棄場以外の廃棄物を規制する記載はありませんでした。

立て札には、草木以外の投棄を禁ずる旨の記載をして、固定した設置を求めます。

上野環境建設課長】IP告知端末による周知を行うとともに、立札について不法投棄を防止する効果的な表記に改め、引き続き、ストックヤードの適正利用の周知徹底を図っていきます。

生ゴミ処理

笹岡議員】私が、住民の中に生ゴミの再利用で有効活用を目的に“EM菌堆肥化”事業の実施を望む動きが在ることを紹介して、「取敢えず実証実験の実施」を提案したこ

とに、村は、「その考えはない」と拒絶しています。

EM菌処理で家庭菜園やプランター栽培などの普及状況に依っては、村の生ゴミ処理量は相当減量できます。

まずは、EM菌の調査と実証実験に取り組んで、その結果を公表することを求めます。

効果が実証できたら、普及に向けて協力者を募る呼びかけと、容器、及びEM菌の無償供与を提案します。

上野環境建設課長】EM菌については、事業化している自治体が存在しているものの、現在、その効果に対する評価が定まっています。堆肥化のための容器、及びEM菌の無償供与については考えていません。

笹岡議員】以前は議会も視察に行ったりして、村主導で様々な機器を配布して減量に取り組んできました。現在は住民の中から声が上がっているのが、当時とは決定的に異なります。

僅かの費用で実証実験は出来ます。取り組んでみませんか。

上野環境建設課長】答は、変わりません。

EM菌、及び容器の無償供与は考えていません。

EM菌、及び容器の無償供与は考えていません。





議案

★議案番号と利島村は省略

《議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例》

【内容】「旅費・宿泊費の上限を13,000円とする実費」に改める。

《全議員賛成 可決成立》

《村長等の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例を改正する条例》

【内容】「旅費・宿泊費の上限を13,000円とする実費」に改める。

《全議員賛成 可決成立》

《教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例を改正する条例》

【内容】「旅費・宿泊費の上限を13,000円とする実費」に改める。

《全議員賛成 可決成立》

《職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例》

【内容】「旅費・宿泊費の上限を13,000円とする実費」に改める。

実費」に改める。

《全議員賛成 可決成立》

《6年度一般会計予算案》
石野議員「ID端末機は双向通信になりますか。」

隅総務課主幹「双向通信については、更新の際に検討します。」

「この質問は、石野議員の承諾を受けて記載しました。」
世園

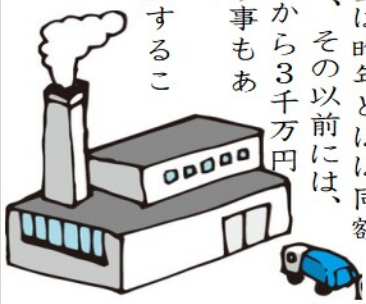
笹岡議員「議会だより」の予算がないのは、「発行しない」という事ですか。

菅瀬副村長「議会だより」の発行は、議会の所管と認識しています。議会で発行できる状態が整えば対応します。

笹岡議員「焼却場の修繕工事費、1千3百万円は昨年度実績ですか。修理する事で、どの程度の期間使用できると見込んでいますか。」

上野環境建設課長「今年度の修繕費は昨年とほぼ同額ですが、その以前には、2千万から3千万円という事もあります。」

修繕するのとで何時まで使用で



きるか分かりません。

今は何とも言えません。

笹岡議員「何時使用不能になっても可笑しくない状況と云うのであれば、新焼却場は急ぎ建設することが要されます。何の予算もなく、これでは手の付けようがありません。」

住民の中には、「住民参加で、白紙から計画を練り直すことが大事」という意見があります。

村山村長「白紙から」と云うのは、考えていません。令和4年2月に出来ている「一般廃棄物焼却施設整備基本計画書」を基に進めていきます。

内容が固まった段階で議会に説明して、その後に住民の皆さんには説明する考えです。

笹岡議員「その計画書の建設費は12億円と云われて、それで建設を取り止めています。その計画書を基にと云うのは、厳しいのではありませんか。」

村山村長「整備計画書を基に方策を考えていきます。笹岡議員」計画が確定するのは、何時頃になりますか。」

村山村長「それは、現時点では言えません。」

私は、一般会計予算案に反対

します。以下理由を述べます。

議案に対する質疑は、議案の内容を住民の前に明らかにする事が主なる目的であり、任務であると考えています。賛否はその結果であつて、最初から、「賛成、又は反対する目的の為の質疑ではない」と云うことです。

その立場から経過をみると、製油センター、ゴミ焼却場建設の予算措置していたことが、年度末になって訳も分からず、「施行不能」と言われて、挙句の果てに、今後の見通しも全く示されられない状況にある事。

製油センターに至つては、用地確保に何の手立ても講じないまま東京都に補助金申請をし、協議に臨むなど、常識では考えられない行為をしている事。

その後今日に至るまで、用地取得に何の対応するでもなく、日々を過ごしてきている事。

ゴミ焼却場は、「計画書を基本に進める」とは云うものの、「事業費が12億円」と云われている中で計画見通しが全く指し示せない状況にある事。

行政が住民から遠くて、住民の声が届かない事。以上の理由から当初予算原案に反対します。

《賛成2◇反対2》
議長決裁で可決成立

議会を終えて

村長は、「どうすれば議案に賛成してくれるのか」悩まれている様ですが、現実には殆どの議案は賛成してきています。

反対しているのは、主に予算案ですが、5年度は事実上全議員によつて否決されています。

私は、半世紀程前に一度、当初予算案が全議員一致で否決されたことは記憶しています。それを除けば、以後これまでの議員活動の中では、予算案には賛成してきています。

この数年、議長決裁で予算案が、かろうじて成立している実態は、そうそう全国に事例の有る事ではなく、世間から見ても異常な状況と云う思いはあります。

そうした意味合いもあつて、「賛成したいが、反対せざるを得ない」と述べています。中々意が通じませんが、反対する事が目的で審議に臨んではいません。

住民の意見や要望の声に耳を傾けて、制度の実現にも努力して欲しいと思っています。寿一

傾けて、制度の実現にも努力して欲しいと思っています。寿一

傾けて、制度の実現にも努力して欲しいと思っています。寿一

日本共産党 **新**委員長 田村智子

暮らし破壊と根は一つ



VS岸田首相 VOL.2



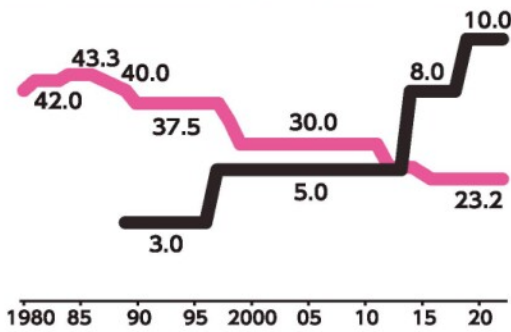
企業献金が政治ゆがめる

動画はこちらから→



財界優先で経済は長期停滞

法人税と消費税の税率の推移 (単位: %)



出典: 財務省ホームページから田村智子事務所作成

政治資金パーティーという「抜け道」を使って企業・団体から巨額のお金を集めてきた自民党。その一方、**財界が企業献金をテコに求めてきたのは、法人税の引き下げ(左表)**です。

この30年間で法人税は大幅に引き下げられましたが、もうけは内部留保や配当を増やすばかりで賃金増に回らず、また法人税減税と一体で進められた消費税増税は、家計消費は冷え込ませ、日本経済は長期に停滞しました。

首相も与党も失敗認めるなら、転換を **日本共産党**

与党も「賃金や国内投資は低迷してきた」「法人税改革は意図した成果をあげてこなかった」(昨年12月、与党税制改革大綱)と認め、5日、国会での**田村委員長の追及に、岸田首相も「賃金や投資が伸び悩んできたことが事実であるという評価だ」と、法人税減税の失敗を初めて認めました。**田村委員長は「だったら体力のある法人に対する減税は見直す、消費税は減税にふみだす、この政策転換が必要だ」と迫りました。



日本共産党の東京選出の国会議員



衆議院議員

参議院議員



宮本 徹



筈井 亮



田村 智子



小池 晃



山添 拓



吉良 よし子

* この「あしたば」は、共産党 利島村で検索 (開くまで数秒掛かります) すれば読めます *